

# 第8回 まちづくりメイヤーズフォーラム

## まちづくりと防災

～北の住まいるタウン～

参加  
無料

定員  
250名

日時 令和元年

11月15日(金)

開催時間 13:30～17:00

(12:40開場)

場所

京王プラザホテル札幌 (2階 エミネンスホール)  
札幌市中央区北5条西7丁目2-1

誰もが安心して心豊かに住み続けられるまち・地域

人口減少、高齢化が急速に進む北海道の市町村。まちづくりの課題は多岐にわたっているため、総合的・分野横断的に取り組むことが必要不可欠です。

道では、複合的な地域課題を地域資源の活用を通じて解決し、将来的に北海道が目指すまちの姿を「北の住まいるタウン」とし、その実現に向けて「コンパクトなまちづくり」「低炭素化・資源循環」「生活を支える」3つの取組を各自治体と協力しながら推進します。

本フォーラムでは、こうしたことに都市の防災性向上など新たな視点も加えた事例などを中心にご紹介いただき、これからの地域づくりについて考えていきます。

皆さまのご参加をお待ちしております。

コンパクト  
なまち  
づくり

低炭素化  
・  
資源循環

防災

生活  
を支える

### 基調講演

「自然災害に強い  
地域社会をつくる」



地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構理事  
丸谷 知己 氏



### 特別講演

「平成30年北海道  
胆振東部地震  
からの教訓」



厚真町長  
宮坂 尚市朗 氏



### パネルディスカッション

～まちづくりと防災～

- まちづくり事例紹介 ①神恵内村長 高橋 昌幸 氏  
②とまこまい広域農協 理事参事 松原 正明 氏
- 「北の住まいるタウン」の目指す姿  
北海道大学大学院工学研究院 研究院長 瀬戸口 剛 教授
- パネリスト:丸谷 理事、宮坂 厚真町長、高橋 神恵内村長、松原 理事参事
- コーディネーター:瀬戸口 教授



主催 : 北海道、一般財団法人 北海道建設技術センター

共催 : 北海道大学大学院 工学研究院

後援 : 国土交通省北海道開発局、北海道市長会、北海道町村会、公益社団法人 日本都市計画学会北海道支部  
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部

第8回まちづくりメイヤーズフォーラム  
まちづくりと防災

～北の住まいるタウン～



プログラム

- 13:30 開会挨拶
- 13:35 基調講演（40分）  
「自然災害に強い地域社会をつくる」
- 14:15 特別講演（40分）  
「平成30年北海道胆振東部地震からの教訓」
- 14:55 休憩（10分）
- 15:05 パネルディスカッション（110分）  
「まちづくりと防災」
- 16:55 閉会挨拶

参加申込方法

本チラシの下記申込書にご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。  
メールにて申し込まれる場合は、下記申込書の内容をメール本文にご入力の上、お申し込みください。

FAX

011-232-1147

メール

kensetsu.tokei1@pref.hokkaido.lg.jp

【問い合わせ先】

〒060-8588

札幌市中央区北3条西6丁目  
北海道建設部まちづくり局都市計画課  
担当：尾崎

TEL：011-204-5284

FAX：011-232-1147

E-mail：kensetsu.tokei1@pref.hokkaido.lg.jp



申込締切  
11月7日(木)

プロフィール

丸谷 知己 氏

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 理事。博士（農学）。北海道大学卒業後、文部省海外学術研究院（ニュージーランド）などを経て、北海道大学大学院教授。北海道大学農学部長、農学研究院長を歴任し、北海道大学国際食資源学院を創設するなどした。2018年3月に北海道大学を退職し、名誉教授。同4月、北海道立総合研究機構理事に就任。専門は砂防学。2016～2018年に公益社団法人砂防学会会長を務めたほか、2015年から北海道大学突発災害防災減災共同プロジェクト拠点長を務め、北海道大学広域複合災害研究センター（研究施設）を設立。

宮坂 尚市朗 氏

厚真町長。室蘭工業大学工学部工業化学科卒業。ホクレン農業協同組合連合会を経て、1981年に厚真町役場入庁。総務課参事を経て、2008年厚真町長就任。現在3期目。「みんなが輝き、支持され選択されるまち、住み続けたい安全・安心なまち“あつま”」をめざして、町内での起業を促すローカルベンチャースクールの開催や町外から転入する子育て世代を応援する子育て支援住宅の建設、田舎ならではの働き方を提供するサテライトオフィスの整備などに取り組む。また、平成30年北海道胆振東部地震で甚大な被害を受け、被災した住民一人ひとりに寄り添った復旧・復興に日々奮闘。

高橋 昌幸 氏



神恵内村長。岩内高等学校卒業。1970年に神恵内村役場入庁。議会議務局長、産業課長、住民課長を経て、2002年神恵内村長就任。現在5期目。産・学・民と連携を図り、海洋資源を再生して活力あるまちづくりを目指した「藻場∞LANDプロジェクト」に取り組む。また、津波避難等の防災対策機能を備えるとともに、地域住民が入れあえる複合的機能を持った役場庁舎の建設に取り組む。

松原 正明 氏



とまこまい広域農協理事参事。弘前大学農学部農業経済コース卒業。1984年に厚真町農協入職後、営農畑を経て参事就任後、胆振東部7JA合併協議の副幹事長を務める。合併後は「都市と農村の共生」「地産地消」を合言葉に農業振興のため、米麦大豆の乾燥調製施設や青果物の集荷施設の整備、耕種と畜産の地域循環型農業を推進。

瀬戸口 剛 氏



北海道大学大学院工学研究院教授、工学研究院長、工学院院长、工学部長。博士（工学）。早稲田大学理工学研究科博士課程修了。北海道大学工学部建築工学科助手、同助教授を経て2010年より現職。副工学研究院長を経て今年度より工学研究院長、工学院院长、工学部長。国土交通大臣表彰国土技術開発賞(2016年)、文部科学大臣表彰科学技術賞(2015年)、日本建築学会賞受賞(2014年)。専門は都市・地域計画。雪や寒さを考慮した積雪寒冷地域の都市デザインや、夕張市をはじめとする集約型コンパクトシティなどに取り組む。「北の住まいるタウン」検討協議会の座長も務める。



参加申込書

所属名・職名	氏名	電話番号